

二〇一〇年度学術大会について

二〇一〇年度学術大会プログラム委員会

二〇一〇年度の日本宗教学会第六九回学術大会は、九月三日（金）五日（日）に東洋大学白山キャンパス（東京都文京区）において開催されます。

本大会では大会テーマを特に設定しておりませんが、「アジアの近代化と宗教」というテーマでシンポジウムを行う予定です。このテーマに関連して、「日本の近代化における宗教政策」「中国近代化に見られる気功の評価」「キリスト教布教と近代化の関係」「神智学とアジアの出合い」といった地域・事項にかかわるものや、「神仏分離と平田篤胤の思想」「井上円了の活仏教」「インドの独立とマハトマー・ガンディーの宗教観」「ポール・ケーラスの科学の宗教」といった特定の宗教家・思想家を主題としたパネル発表が、多くあることを期待しています。

本大会における発表形式は、「個人発表」「パネル発表」の二種類です。

「個人発表」の申込書は大会案内と共に四月下旬に発送いたしますが、「パネル発表」は前もって審査する必要から「パネル発表のお知らせと募集要項」を三月中旬に別送いたします。これをご参照の上、四月一五日～五月一五日にお申し込み下さい。

なお「大会参加」と「個人発表」の申込締切は、五月末日です。

大会期間中の宿泊場所は、大会本部では斡旋いたしませんので、参加者個人でお願いいたします。

上記のパネル発表のお知らせと募集要項／申込書は三月中旬より、大会案内は四月下旬より、第六九回学術大会のホームページにアップの予定ですのでご利用下さい。

発表申込者の資格

以下の本学会員に限ります。

・名誉会員

・二〇一〇年四月末日時点で、二〇〇九年度までの会費を納入済みの維持会員、普通会員

・二〇一〇年四月一〇日の理事会で入会を承認された普通会員

二〇〇九年度までの会費が未納の会員は、四月末日までに、未納会費をお納め下さい。